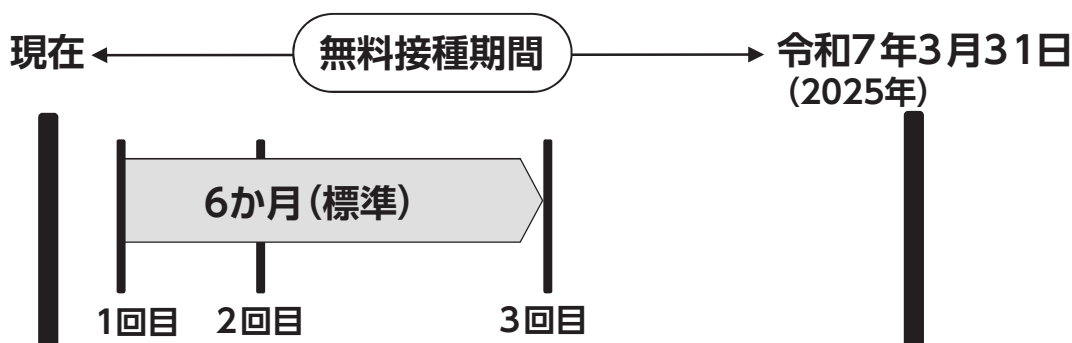


子宮頸がん予防ワクチンのキャッチアップ接種について

令和4年度(2022年度)に開始した、無料で接種できる期間の延長(キャッチアップ)が令和7年(2025年)3月31日で終了します。3回の接種完了まで標準的には半年かかるため、接種を希望する未接種の方はご検討ください。

令和5年度(2023年度)より、サーバリックス(2価)・ガーダシル(4価)に加え、シルガード9(9価)が接種可能となりました。シルガード9(9価)は子宮頸がんの原因の80%~90%を占める、7種類のHPV(ヒトパピローマウイルス)の感染を予防することができます。



1 対象者 平成9年(1997年)4月2日から平成20年(2008年)4月1日生まれの女子

2 接種費用 無料

3 接種期間 令和7年(2025年)3月31日まで

4 接種方法 ワクチンにはサーバリックス(2価)とガーダシル(4価)とシルガード9(9価)の3種類があり、原則、同じワクチンで3回の接種を受けます。

●**サーバリックス(2価)**: 1回目から1か月空けて2回目を接種。2回目から2か月半以上、かつ1回目から6か月空けて3回目を接種。

●**シルガード9(9価)、またはガーダシル(4価)**: 1回目から2か月空けて2回目を接種。2回目から3か月以上、かつ1回目から6か月空けて3回目を接種。

5 接種場所 市内の子宮頸がん予防ワクチン実施医療機関(別紙をご覧ください)

6 持ち物 母子健康手帳・健康保険証等(氏名、住所が確認できるもの)
※母子健康手帳を紛失した場合は、市内の事務所、保健福祉センター、市役所1階市民課で再発行してください

7 子宮頸がんについて

子宮頸がんは、子宮の頸部という子宮の出口に近い部分にできるがんです。若い世代の女性のがんの中で多くを占めるがんです。

日本では毎年、約1.1万人の女性がかかる病気で、さらに毎年、約2,900人の女性が亡くなっています。患者は20歳代から増え始めて、30歳代までにがんの治療で子宮を失ってしまう(妊娠できなくなってしまう)方が、毎年、約1,000人います。

8 すでにシルガード9(9価)以外のワクチンを接種している場合

原則、同じ種類のワクチンを3回接種することをおすすめしていますが、医師と相談の上、サーバリックス(2価)とガーダシル(4価)の1~2回目を受けていても、途中からシルガード9(9価)に変更することができます。

1回目		2回目		3回目		接種可否
2価(4価)	→	2価(4価)	→	9価	...	○
2価(4価)	→	9価	→	9価	...	○
9価	→	9価	→	<u>2価(4価)</u>	...	×
2価	→	<u>4価</u>	→	4価	...	×

9 子宮頸がん予防ワクチンの副反応について

接種後は、接種部位の痛みや腫れ、赤みなどが起こることがあります。まれに、重い症状(重いアレルギー症状、神経系の症状)が起こることがあります。予防接種後に痛みやしびれが持続する場合は、通院中の医療機関、または接種を受けた医療機関へ相談してください。

10 予防接種健康被害救済制度

対象の期間に接種を受けて、重篤な健康被害が発生し認定された場合には、予防接種法に基づく給付を受けることができます。

11 検診について

20歳になったら、ワクチン接種の有無にかかわらず、子宮頸がんを早期発見するために、子宮頸がん検診を定期的(2年に1回)に受けることが重要です。

市のホームページに、子宮頸がん予防ワクチンに関する詳細な情報や、厚生労働省が作成したリーフレット等を掲載していますので、あわせてご覧ください。

(市HP:子宮頸がん予防ワクチン(HPV感染症)の接種について)



【問い合わせ先】

八王子市保健所 保健総務課 〒192-0046 八王子市明神町三丁目19番2号
東京たま未来メッセ庁舎・会議室棟5階 ☎645-5102/FAX644-9100